

みずほCustomer Desk Report 2018/09/25号(As of 2018/09/21)

【昨日の市況概要】

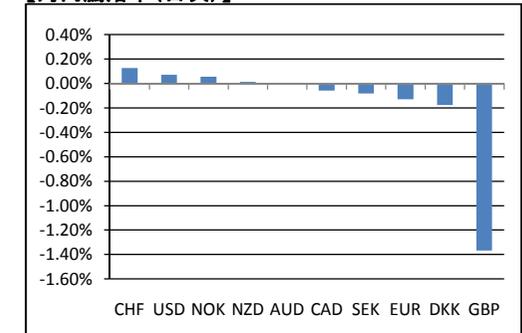
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.56
TKY 9:00AM	112.50	1.1776	132.50	GBP/USD	1.3270
SYD-NY High	112.88	1.1803	133.13	AUD/USD	0.7286
SYD-NY Low	112.42	1.1733	132.17		0.7304
NY 5:00 PM	112.61	1.1747	132.29		0.7263
NY DOW	26,743.50	86.52	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	7,986.96	▲41.28	日本10年債	0.1300	2.00bp
S&P	2,929.67	▲1.08	米国2年債	2.8020	▲0.35bp
日経平均	23,869.93	195.00	米国5年債	2.9511	▲0.32bp
TOPIX	1,804.02	16.42	米国10年債	3.0656	0.20bp
シカゴ日経先物	23,770	50	独10年債	0.4595	▲1.00bp
ロンドンFT	7,490.23	122.91	英10年債	1.5515	▲3.20bp
DAX	12,430.88	104.40	豪10年債	2.6965	▲1.40bp
ハンセン指数	27,953.58	475.91	USDJPY 1M Vol	6.38	0.08%
上海総合	2,797.485	68.24	USDJPY 3M Vol	7.23	▲0.01%
NY金	1,201.30	▲10.00	USDJPY 6M Vol	7.66	▲0.01%
WTI	70.78	0.46	USDJPY 1M 25RR	-0.55	Yen Call Over
CRB指数	193.98	1.27	EURJPY 3M Vol	8.66	0.04%
ドルインデックス	94.22	0.31	EURJPY 6M Vol	8.93	0.01%

東京	東京時間は112.50レベルでオープン。仲値までは112円半ば付近で上値が押えられていたが、通過後は日経平均の一段高などを背景に112円台後半まで上抜けた。午後に入ってから徐々に上値を切り上げ一時112.83まで上昇。クロス円の堅調地合いもドル円を高値圏でサポートし112.83レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、112.83レベルでオープン。週末を控え狭いレンジで推移した。東京時間は国債の買い入れオペが減額されたことを受け金利が上昇し一時円高方向に推移していたものの、欧州時間はアジア時間の上昇幅を縮小する形で円が売られドル円は上昇。112.70レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3253レベルでオープン。欧州時間朝方は方向感なく推移したものの、英首相が「離脱交渉は袋小路に入っている」とコメントしたことからポンド売りに。1.3173まで下落した。
ニューヨーク	日銀が残存期間25年超の国債買い入れ額を100億円減額し、500億円としたことから、海外市場で円買いがやや強まる局面もあったものの、リスク志向からその後は円売りが優勢となり、ドル円は112.88まで上昇するが、これは2ヶ月ぶりのレベルであることや、メイ首相が重要な発表をするとの話から警戒感からポンド円、ユーロ円が下落する動きにドル円は上値を切り下げ、112.70レベルでNYオープン。朝方はメイ首相が北アイルランドの国境問題で、EU草案を英議会で拒否したことを発表し、「悪いディールよりも、ノーディールのほうが良い」などと発言したことから、ポンド、ユーロが下落する動きにドル買いの流れとなったことでドル円は112.78まで戻すが、その後はポンド円の下落に連れて112.51まで反落。NY午後は、112.60付近での推移が続き、112.61レベルでクロスした。一方、リスク志向から海外市場で6/14以来のレベルである1.1803まで上昇したユーロドルは、ユーロ圏9月製造業PMIが予想を下回ったことや、メイ首相の重要発表を控えた調整に反落し、1.1760レベルでNYオープン。NY朝方は、前述のメイ首相の発言を受けユーロ売りが強まり、1.1733まで下落する。その後は、ロンドンフィックスに掛けて1.1767まで戻す局面もあったものの、ブレグジット交渉に対する懸念から上値は重く、NY午後は1.1740付近での推移が続き、1.1747レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



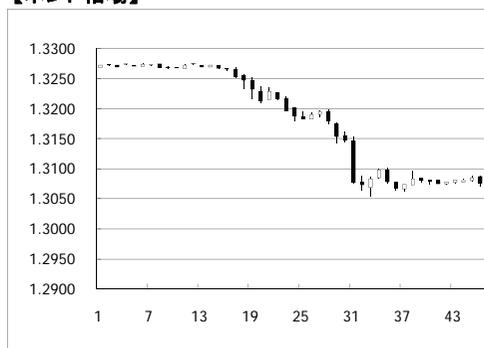
【ユーロ円相場】



【ユーロドル相場】



【ポンド相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

